



平成30年上半期 大分税関支署管内貿易概況

平成30年8月14日
門司税関 大分税関支署

県全体の貿易額

輸出額は4,157.6億円、前年同期比14.7%増、3期連続のプラス
映像機器、銅及び同合金、事務用機器、鉄鋼などが増加
有機化合物、船舶類などが減少

輸入額は6,068.6億円、前年同期比11.9%増、3期連続のプラス
原油及び粗油、銅鉱、液化天然ガスなどが増加
揮発油、石炭などが減少

主要品目

(単位：百万円、%)

輸 出	価 額	前年同期比	構成比	輸 入	価 額	前年同期比	構成比
鉄鋼	118,762	108.9	↑	銅鉱	158,795	129.5	↑
有機化合物	36,804	70.4	↓	石炭	89,222	88.4	↓
事務用機器	61,938	121.1	↑	鉄鉱石	92,777	94.0	↓
銅及び同合金	65,257	137.1	↑	原油及び粗油	103,488	179.6	↑
船舶類	33,247	85.3	↓	液化天然ガス	68,102	120.2	↑
映像機器	63,460	366.1	↑	揮発油	31,690	66.9	↓

港（通関官署）別の状況

大 分) 輸出は3,835.3億円、前年同期比17.4%増。映像機器、銅及び同合金などが増加
輸入は6,002.9億円、前年同期比11.8%増。原油及び粗油、銅鉱などが増加

佐 伯) 輸出は99.7億円、前年同期比28.3%減。船舶類などが減少
輸入は28.8億円、前年同期比64.8%増。船舶類、魚介類などが増加

津久見) 輸出は222.6億円、前年同期比1.5%増。船舶類が増加
輸入は36.9億円、前年同期比2.9%減。石油コークス、アルコール飲料などが減少

大分 空港) 輸出は全減。再輸出品が全減。

輸入は414千円、前年同期比91.3%減。輸送用機器が全減、荷役機械が減少

港 名（通関官署）

(単位：百万円、%)

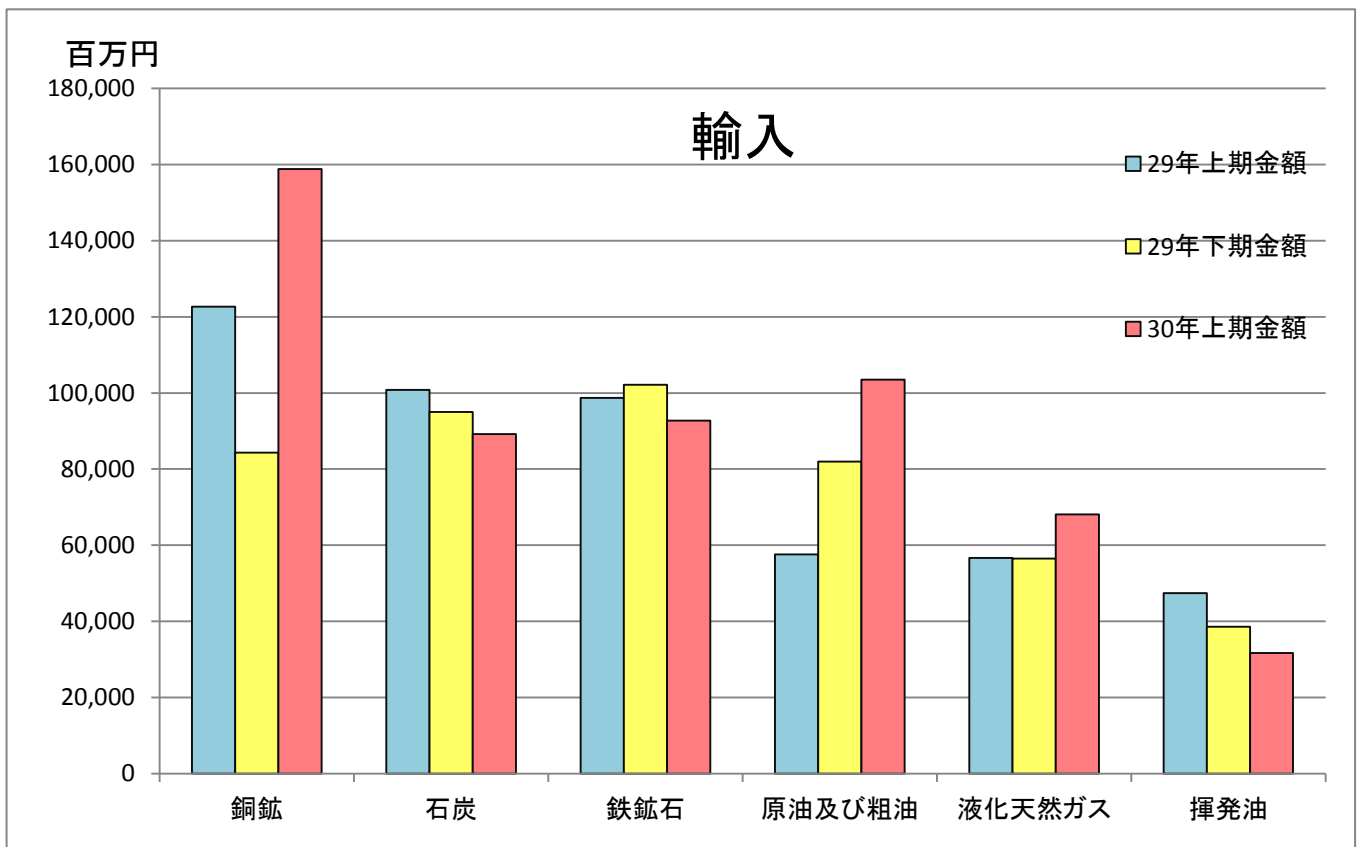
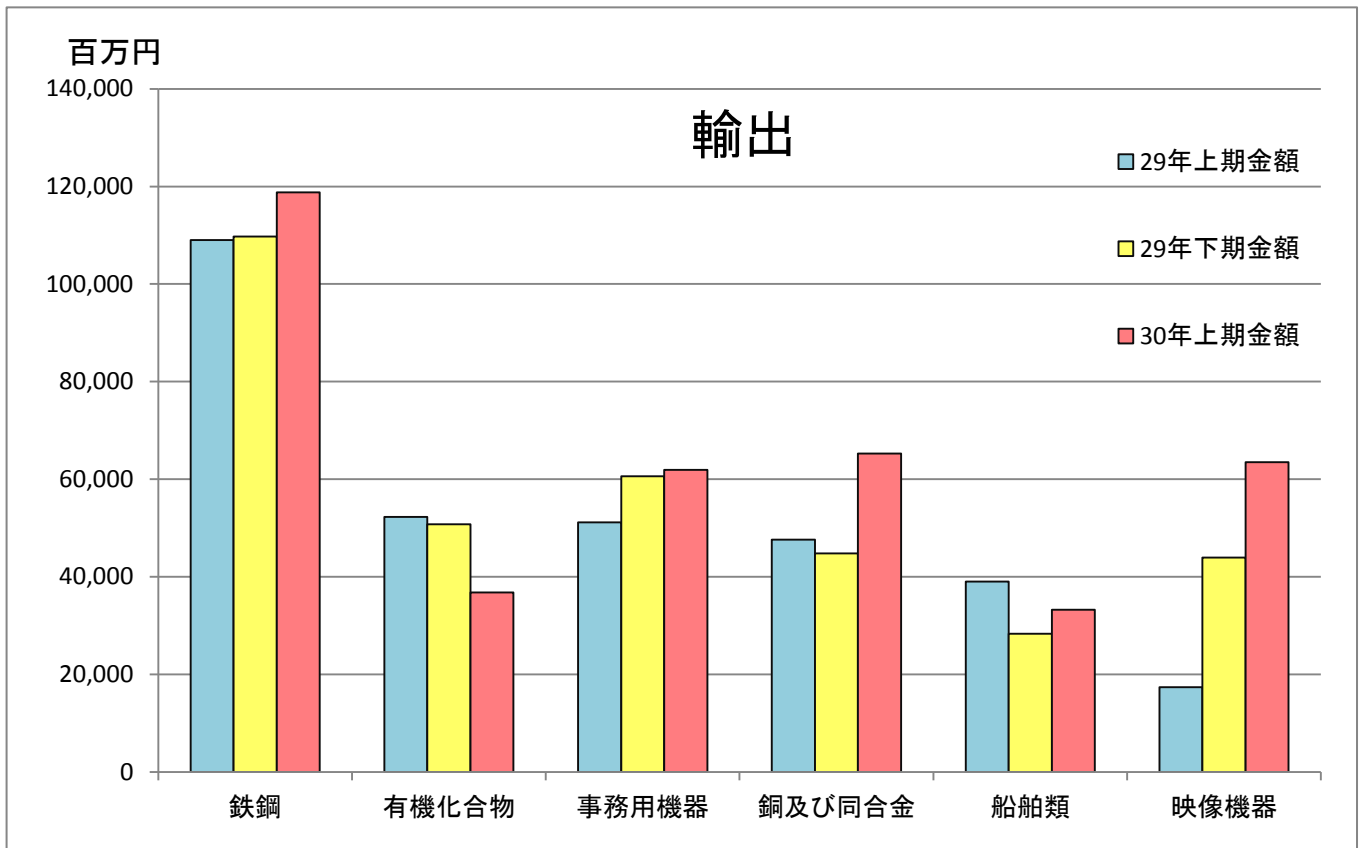
区 分	輸 出				輸 入				差引額	
	価 額	前年同期比			価 額	前年同期比			出・入超	価 額
大 分(大 分)	383,529	117.4	↑	3期連続のプラス	600,292	111.8	↑	3期連続のプラス	入超	216,763
佐 伯(佐 伯)	9,973	71.7	↓	2期連続のマイナス	2,885	164.8	↑	3期連続のプラス	出超	7,088
津久見(津久見)	22,262	101.5	↑	3期連続のプラス	3,686	97.1	↓	2期ぶりのマイナス	出超	18,576
大分空港(大分空港)	-	全減	↓	2期連続のマイナス	0	8.7	↓	2期連続のマイナス	入超	0
大 分 県	415,764	114.7	↑	3期連続のプラス	606,863	111.9	↑	3期連続のプラス	入超	191,099

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

品目別の状況



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課
シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>
税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>